

2024年度 飛騨古川 U-13 交流大会

飛騨古川フレッシュ審判員スクール研修会 報告書

茨城県サッカー協会
3級インストラクター 豊田 伸久
3級審判員 田代 久峨

1 日程

2024年5月4日（土）～2024年5月6日（月） 2泊3日

2 大会名

飛騨古川 U-13 サッカー大会（愛知FC主催）

3 場所

〈実技〉岐阜県飛騨古川ふれあい広場 他2会場

〈講義〉岐阜県飛騨古川文化交流センター

4 参加者

審判員8名（茨城県 田代 久峨）

インストラクター10名（茨城県 豊田 伸久）

5 研修会目的

若手審判員の発掘・育成

6 テーマ

開く・動く

・どこに

レフェリーサイド 次の争点 PA 副審と挟んでみる

・いつ

ゴールキック 攻守の切り替え DFラインでのポゼッション

7 実践研修

各会場にて1日2試合程度



ピッチチェックの様子



担当した試合（田代さん）

8 講義

※参加審判員による事前研修 4月28日（日）開催

5月4日（土）

- ① 主催者挨拶（小椋 剛氏）
- ② インストラクター 審判員自己紹介
- ③ テーマ「開く・動く」について（佐々木 芳明氏）
- ④ 競技規則テスト（松尾 智行氏）



アプリ「kahoot」を使用した競技規則テストの様子



審判員にメッセージを



研修会参加者による集合写真

9 総括

【3級インストラクター 豊田 伸久】

愛知県サッカー協会の交流プログラム「飛騨古川フレッシュレフェリースクール研修会」に参加させていただきました。研修会直前に日程が変更になったことで茨城県の参加者は1泊2日での参加になりました。

本研修会は2003年から続く「若手審判員の発掘・育成」の場として位置づけられ、受講生から1級審判員やJリーグ審判員を輩出する登竜門となっています。

受講生も意欲的に研修会に参加し、何でも吸収して自分のレフェリングに生かしていこうという雰囲気伝わってきました。

受講生は高校1年生から社会人1年目の18歳までの3級審判員で、担当した試合を「開く・動く」のテーマを意識しながら1試合1試合選手ファーストで真剣に取り組んでいました。

試合後は担当インストラクターとの振り返りを行いました。振り返りには、「レフェリング分析・評価シート」を使用し、レフェリー自ら目標を記入し、試合後は自己分析・A 競技規則の解釈と適用・B 動きの量と質・C ポジショニング・総評（自己評価）を記入し、インストラクターからアドバイス・評価をもらうシートでした。とても有意義な振り返りの時間になりました。

研修会では、テーマ「動く・開く」についてのディスカッションが全体・グループごとに行われ、審判員はお互いに試合で良かった点・改善点を出し合い共有しながら研修をしていました。研修会では競技規則テストも実施されました。インストラクターの自作でアプリ「kahoot」を使用してゲーム感覚でできるもので、審判員・インストラクターも一喜一憂しながら競技規則を再確認していました。

貴重な研修会の機会をくださった愛知県サッカー協会、茨城県サッカー協会の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

【3級審判員 田代 久哉】

私は、今回の他県への派遣研修会に参加させていただき、普段得られることができない沢山の知識、技術を身に着けることができました。

今回の研修会では、審判員一人に必ず一名インストラクターが付いてくださり、良かった点、改善点を丁寧に一つ一つ教えてくれました。そして夜に行われた講義では仲間と協力してサッカーに関する競技規則について楽しく学ぶことができました。また試合では今年度のテーマである「開く、動く」を意識しながら行うことができました。

このような貴重な経験をすることができたのは愛知県サッカー協会、愛知FCをはじめとする各チームのスタッフ並びに選手一同の方々と茨城県サッカー協会の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

以上